

# 災害時に必要な多様性の 視点と配慮を身につける

## 女性防災リーダー養成講座

定住人口の増加が続く中央区は、来街者も多く、性別や年齢、国籍、生活スタイルの異なる多様な人々が行き交い、住むまちとなっています。

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。発災時に避難する場所は、学校や公共施設等に開設される防災拠点だけでなく、帰宅困難者の受け入れ先となる事業所や、被災時にたまたま居合わせた場所が「避難の場」になることも考えられます。

どのような場所に避難したとしても、性別や年齢、障がいの有無、国籍などにかかわらず、すべての被災者の人権が守られることが大切です。そのためには、行政や限られた担い手だけでなく、地域や職場にいる一人ひとりの「気づき」や「声」が欠かせません。

本講座では、地域や職場における災害対応を題材に、さまざまな立場の人が直面する困りごとやニーズに目を向けながら、「もし自分がその場にいたら、何ができそうか」を考えていきます。

講座やワークショップを通じて、多様な視点に配慮した支援の基本を学び、日頃の防災や、いざという時の行動につながるヒントを持ち帰っていただきます。

学んだことをすぐに大きな役割や責任に結びつける必要はありません。  
まずは、身近な人に話してみる、地域の取組を知る、防災の場に一度足を運んでみる——  
そんな小さな一歩が、地域防災力を高める力になります。

各回の詳細は  
裏面へ



5月30日 土 6月13日 土 6月27日 土  
7月11日 土 7月25日 土

参加費  
無料

定員  
30名

※1

一時保育  
無料

1歳以上の未就学児  
定員5名

※2

※1：申し込み多数の場合抽選。結果は5月17日(日)にお知らせします。  
※2：保育以外のお子さんを同伴してのご参加はできません。

各回 10:00～12:30 (全5回 原則全回参加をお願いします)

### 場所

### 対象者

第1～3回  
中央区役所  
8階 大会議室

東京都中央区築地1丁目1-1

第4・5回

京橋プラザ区民館

東京都中央区銀座1丁目25-3

中央区 在住・在勤・在学の方  
で防災の取組や防災力の向上  
に関心のある女性

### お申し込み(お問い合わせ)はこちらから

1. 申込みフォーム
2. 電話 **090-2907-2293**  
流山防災まちづくりプロジェクト事務局  
受付時間：9:00～17:00
3. メール **2019nbmp@gmail.com**  
流山防災まちづくりプロジェクト事務局

### 申込み期間

5月1日(金)～5月16日(土) 17時まで

### 電話・メール

申込時に以下の内容をお知らせください

- ①氏名・ふりがな
- ②年代
- ③中央区在住・在勤・在学・その他の別
- ④ご住所
- ⑤ご所属(会社名・団体名・学校名などがあれば)
- ⑥連絡先電話番号
- ⑦メールアドレス
- ⑧保育希望の有無(ありの場合、お子様の年齢・人数)
- ⑨参加動機

### 申込みフォーム



上記二次元コードを読み込み  
必要事項をご入力ください

# 各回の内容と講師紹介

## 第1回 5月30日 土 中央区の地域防災を考える

10:00~12:30

- 養成講座についての紹介
- 講演者についての紹介
- 流山防災まちづくりプロジェクトについての紹介
- 区の防災の取組について



流山防災まちづくりプロジェクト 代表  
矢口 輝美

流山防災まちづくりプロジェクト」の代表として、女性防災リーダー養成講座を実施、「命と暮らしを守る避難所運営ハンドブック」策定後、自治会や地区社会福祉協議会、中学校等で多様に配慮し、男女共同参画の視点を大切に避難所開設訓練を行っている。

中央区総務部防災危機管理課

## 第2回 6月13日 土 災害は平等ではない

10:00~12:30

— 地域の防災に女性の視点を

- あの時、何が起きていたのか震災の現場から見た現実
- 知っておきたい男女で異なる災害の影響
- いま、私たちができること



公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会  
丹羽 麻子

三重県男女共同参画センターで相談事業を担当したのち、2011年から福島県で女性相談支援に関わり、内閣府「被災地における女性の悩み・暴力相談事業」の福島県拠点運営を担当。その後、復興庁（男女共同参画担当）、国立女性教育会館等を経て、2023年より現職。男女共同参画と災害復興・ネットワーク運営委員、元 埼玉県防災会議委員。

## 第3回 6月27日 土 地域防災のカギは女性リーダー

10:00~12:30

～「誰一人取り残さない」へのアプローチ～

- 阪神淡路大震災から30年日本の変化と課題を考える
- 能登半島地震・熊本地震の事例からみえた女性の困難とその対応策
- ジェンダー平等の視点と女性のリーダーシップ



一般財団法人大阪男女いきいき財団 理事兼事務局次長  
沢田 薫

大阪市立男女共同参画センター中央館（クレオ大阪中央）館長を経て現職。防災と男女共同参画をテーマにジェンダー視点を取り入れて女性防災リーダーの養成に取り組む。2024年の能登半島地震以降、継続的に輪島市などの被災地支援に入る。DV被害者支援の夕陽丘基金事務局長、国連ウイメン日本協会大阪副会長も務める。

## 第4回 7月11日 土

10:00~12:30



男女共同参画の視点を取り入れ  
多様に配慮した避難所開設運営を学ぶ

- 避難所のレイアウトや、受付・誘導での具体的な配慮・動きについて学ぶ
- 防災倉庫を見てみよう

## 第5回 7月25日 土

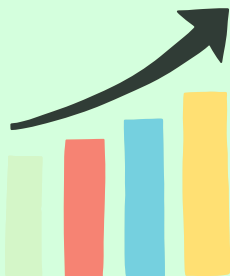
10:00~12:30



地域防災とこれから私のめざす  
女性防災リーダー

- 自分の住む地域の防災課題・関わり方を考える
- 今後に向けたアクションプラン発表

## 受講後のゴール



- 男女共同参画と多様性の視点を持ち、防災・災害の全体像の理解や避難所運営などの知識を習得する
- 被災時に立ち上げた拠点の運営などで主体的に取り組むための知識を習得する
- 講座終了後、多様な視点を持って地域での活動へ一歩踏み出す